

あなたに薦める『この一冊』6月

「化学の常識おもしろ知識」

大宮信光【著】 日本実業出版社

理科教諭 丸谷 智迦津

高校 1年1組 副担任



この本との出会いは、大学の研究室に配属されてしばらくしてからでした。研究室の本棚には難しい本が多く並んでいたのですが、その中の一画に高校の教科書などが並んでいるところがあり、そこにこの本もありました。

もともと教育免許を取ろうと考えており、教員としていろいろな知識をつけておく方がいいだろうと思い、手に取ってまえがきを読むと、そこに「この本は、私たちの常識を揺るがし、目からウロコを落とす、化学に関するさまざまなエピソードを集めてお伝えしようとするものです。人間と物質の間ににじみ出た化学の夢を言葉にしてみたい——そんな思いを込めて結晶させた本です。」という言葉が書いてありました。

実際にこの本の中身は化学を専門に勉強していた私にとっても目からウロコな内容が多くありました。その中でも食卓を彩る食品の化学のソフトドリンク小史というところでは、欧米において低温の炭酸泉を飲むことに始まったという内容があり、今も飲まれている炭酸水はこのようにして始まったんだなと感心させられました。

このほかにも、暮らしの中の化学の話だけでなく、身体の中の化学や環境の化学、化学の歴史などさまざまな化学をピックアップして取り上げたこの本は、理系だけでなく文系の生徒も難しい知識などがなくても気軽に読めるのでぜひ一度試しに読んでみてください。

著者『大宮信光』豆知識

科学評論家。科学ジャーナリスト。1938年東京生まれ。東京教育大学（現在の筑波大学）在学中から家庭教師、塾経営をはじめ、67年にSF同人雑誌『宇宙塵』に参加。78年頃からSF乱学者、科学評論家を名乗り、科学技術と文明の未来を中心テーマに、森羅万象を狩猟・採集・料理する。出典：眠れなくなるほど面白い図解相対性理論

きっとあなたも **大好き♡** になる

おもしろカガク関連書

紹介図書と同著者の本!!

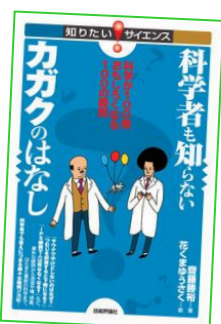
- 眠れなくなるほど面白い科学の大理論 太田信光【著】 日本文芸社



謎と不思議、大発見と大発明！
ニュートン力学から最先端理論まで、台所から宇宙まで！
世界を変えた「大理論」を知れば、現代文明を支える科学の世界が面白いほどよくわかる!!

- 科学者も知らないカガクのはなし 齋藤勝裕【著】 技術評論社

「マムシはマムシに噛まれると死ぬ?」、「人は霞を食べて生きていけるのか?」、「iPS細胞で人は死ななくなる?」など、素朴な疑問から最新の科学についてまで、科学者でも答えにつまりそうなさまざまな疑問に、スーパー理学博士、齋藤勝裕先生が答えていく。専門知識を持たない一般読者でも手軽に読めるよう、花くまゆうさく先生のおもしろ4コママンガも楽しめ、2倍お得に!



★丸谷 智迦津(マルタニ トモカヅ)先生の紹介★

- *担当科目・クラス
理科(中3年1組~4組)
化学基礎(高1年1組~3組)
- *星座 → いて座
- *趣味 → 身近な化学実験を考えること、ドライブ、料理
- *自分の中学・高校生活
とりあえず学校にずっといる生徒でした。
- *本校生の印象
挨拶をしっかりできる子が多い 元気で活発な子が多い
- *感動した本(研究の基礎になった本)
『蛋白質機能の分子論』濱口浩三【著】学会出版センター
- *読むことが望ましい本(理系の生徒におすすめ)
『化学の新研究』卜部吉庸【著】三省堂

- ビーカーくんとそのなかまたち うえたに夫婦【著】 誠文堂新光社



山のようにある実験器具のなかから、誰もが1度は見たことのある馴染み深いひとや、人によってはグツとくる、個性的なひとを選んでみました。この本は、見たことのある実験器具の見たことのない図鑑です。

- 中学・高校化学のほんとうの使い道 京極一樹【監修】 実業之日本社

理系科目の中で昨今最も注目を集めているのが「化学」。中学で学習する理科の化学分野、そして高校で学習する化学の範囲から、現代社会・身近な生活の中でそれらがどのように役立っているかを分かりやすく解説する。物質の構成、原子構造、酸化と還元、リチウム電池等日常生活と大きく関わる化学の知識を身につけよう!



編集後記:「ポピュラーサイエンス」とは「科学を、専門学術用語を用いず、一般大衆に理解できる平易な言葉や例で説明したもの」……今回の紹介図書もこのジャンルに属する本です。「カガクの話なんてどうせ難しいし退屈でしょ?」……なんてあなたの偏見を打ち破る1冊となるかも!?